

東日本大震災

被災者支援の進捗報告

2012年1月12日現在（10ヶ月後）

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル266区
info@japanplatform.org
TEL 03-5223-8891
FAX 03-3240-6090

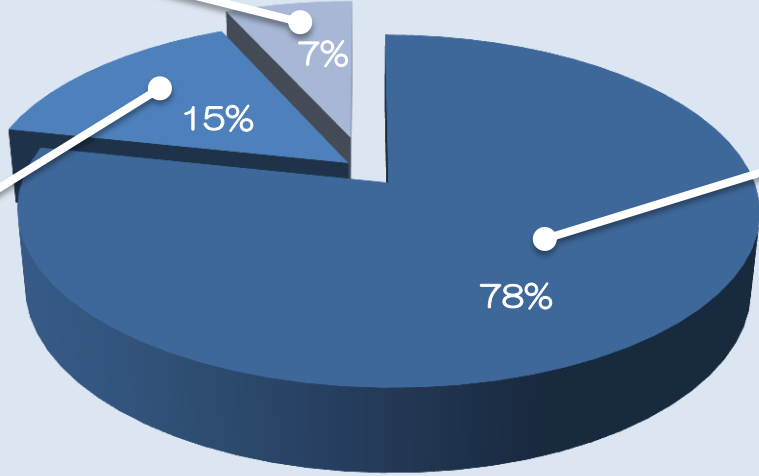
東北事務所
〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービル18F
TEL 022-399-7997

これまでにジャパン・プラットフォームに寄せられた寄付とその使途について

総額：67億3,671万2,713円 ★

★2011年12月30日現在の入金額

これから活用する資金など
4億7,610万4,318円



これまでの
加盟NGOへの助成額
52億6,060万8,395円
すでに助成が決定した55事業の
合計額となっています。

**「共に生きる」ファンド
による助成**

10億円
(内、助成決定額
3億2,419万4,471円)

10億円はファンドとして総額となります。

<これまでの助成決定額>
 第1回：4,196万7,863円 (8件)
 第2回：5,788万7,133円 (10件)
 第3回：6,852万6,211円 (9件)
 第4回：6,842万3,495円 (15件)
 第5回：5,583万4,269円 (8件)
 第6回：3,155万5,500円 (8件)

★現在、第7回の助成案件を
審査しております。

あたらしい年をむかえました。
2012年をよりよい年にする事ができるよう
皆様のお力添えを
宜しくお願い申し上げます。

■■東日本大震災 募金受付口■■
三菱東京UFJ銀行 本店
普通 1354054
トクヒ) ジャパンプラットフォーム
■■■■■

現在のジャパン・プラットフォームの取組みについて

ジャパン・プラットフォーム(JPF)の取り組む東日本被災者支援事業は、NGOへの助成だけではありません。助成した支援活動の評価や、支援団体や自治体と協力して暖房器具の配付調整もしています。

●評価ミッション

評価ミッションとは、今後の支援に活用できる教訓と提言を導き、関係者と共有することを第一義的な目的とする、支援事業を評価する取り組みです。評価は専門家4名とJPFスタッフにより実施されます。

今月より現地調査を実施しており、3月にNGOとのディスカッションを経て報告書の作成を予定しています。

<評価方法>

- ①評価指標 [妥当性・適切性/連結性・持続可能性/効率性/有効性/調整/インパクト] による評価
- ②専門家の視点による評価

●みなし仮設への暖房器具配付

岩手・宮城・福島の3県において、JPF加盟団体、現地で活動しているNGO・NPOおよび各県ならびに市町村と協働し、冬の寒さ対策の調整を行いました。

プレハブ仮設住宅への暖房器具の支援は行政が行い、民間賃貸住宅など「みなし仮設」に入居している被災者への支援はNGO・NPOが行うといった役割分担を決めました。これにより、3県において、被災世帯に対し最低限の暖房器具が配られました。また。配付に関しては器具を供給できる企業からの協力も不可欠でした。これからも、企業・行政・現地で活動する支援団体と連携し支援に取り組んでいきます。

東日本大震災被災者支援：事業展開（JPF参加NGOのうちJPF助成分）

2012年1月12日現在

